

「令和元年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

1 はじめに

長洲町教育委員会では、長洲町の児童生徒の学力や学習状況がどのような状態にあるのかを把握し、指導の改善等に生かすために「全国学力・学習状況調査」を活用しています。

今回の調査結果を、全国や県及びこれまでの調査結果と比較することにより、教育施策の成果と課題を抽出し、町民の皆様と共有することにより、長洲町の児童生徒の「確かな学力」の向上に取り組んでいきたいと思えます。

なお、今回の調査で得られた結果は、児童生徒の「学力の一部」であることから、今後、検証を行うとともに、各教科で児童生徒の指導法等の工夫改善を図り、教育行政の施策に役立てていきます。

2 調査の概要

○実施日 平成31年4月18日

○調査対象 小学校6年生 中学校3年生

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

・知識・活用を一体的に問う問題

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

・学習意欲、学習方法、学習習慣、学習環境、生活の諸側面に関する調査

3 調査結果の概況

※今年度調査より全ての教科において、知識・活用を一体的に問う問題形式に変更されたため、従来のAB区分がなくなっています。

(1) 教科に関する調査

①小学校6年生（国語・算数）

	国語	算数
全国平均正答率(公立)	63.8	66.6
町平均正答率	65.0	63.0

②中学3年生（国語・数学・英語）

	国語	数学	英語
全国平均正答率(公立)	72.8	59.8	56.0
町平均正答率	65.0	48.0	48.0

(2) 生活に関する調査

○小学校

主な質問項目で「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」が全国平均を上回った又は下回った項目

【上回った項目】

- ◎自分には、よいところがあると思う。
- ◎ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ◎読書は好き。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。
- ◎地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

【下回った項目】

- ▲毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている。
- ▲将来の夢や目標を持っている。
- ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ▲学校に行くのは楽しい。
- ▲家で自分で計画を立てて勉強をしている。

○中学校

主な質問項目で「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」が全国平均を上回った又は下回った項目

【上回った項目】

- ◎将来の夢や目標を持っている。
- ◎学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。
- ◎学校に行くのは楽しい。

【下回った項目】

- ▲朝食を毎日食べている。
- ▲毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている。
- ▲自分には、よいところがあると思う。
- ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ▲自分で計画を立てて勉強をしている。

4 成果と課題

○小学校

教科に関する調査『国語』の結果では、「国語への関心・意欲・態度」や「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」は、全国平均を上回り、話しの構成や内容を工夫し、場面に応じた適切な言葉を示すことができている。さらに、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確に表すことができている。

一方、「話す・聞く能力」や「書く能力」は、全国平均を下回り、漢字などを正しく読んだり、書いたりすることが課題として見受けられる。

『算数』の結果では、「数量や図形についての知識・理解」は、全国平均並みで、示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することや台形などの図形を正しく理解することができている。

一方、「数学的な考え方」や「数量・図形についての技能」が、全国平均を下回り、数量を示す、グラフ、図形の特徴や傾向を読み取り、回答理由を言葉や数を用いて記述することが課題として見受けられる。

○中学校

教科に関する調査『国語』の結果では、全てにおいて、全国平均を下回った。特に「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は大きく下回り、文書の構成や展開、表現の仕方について自分の考えを持つことや文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることなどが課題として挙げられる。

『数学』の結果では全てにおいて、全国平均を下回った。特に「数学的な技能」や「数量や図形などについての知識・理解」が大きく下回り、目的に応じて数式を変えて見たり、読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する能力や、新たな事柄を見出し、説明する能力が低いことが課題として挙げられる。

『英語』の結果では、全てにおいて、全国平均を下回った。特に、「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」は大きく下回り、文の中で適切な接続語を用いたり、疑問文を正確に書くことが課題として挙げられる。

5 今後の対策

今回の調査結果を受けて、教科に関する調査で、小学校「国語」は、全国平均を上回ったものの、小学校「算数」、中学校「国語」「数学」「英語」は全国平均を下回る結果となった。教育委員会では、今回の「教科に関する調査」及び「生活に関する調査」の結果を真摯に受け止め、各学校で詳細に分析し、長洲町学力向上対策検討委員会等で成果と課題を基に、各学校において、指導方法や授業改善に向けた取組みを行っていく。